

アゴラインで遊ぶ毛束と重めバングの ドール顔パーマスタイル

鎌田杏梨
1988年1月21日生まれ。東京都出身。日本美容専門学校卒業後、feelに入社。現在はサロンワークの他、サロンの撮影等で活動中。お客さま1人ひとりの雰囲気を敏感に感じ取り、それぞれに合ったコミュニケーションの取り方で行うカウンセリングに定評がある。顔周りの似合わせや、トレンドを取り入れた“今”の可愛いやかっこ良いを伝えるスタイル提案で、お客さまからの厚い信頼を得ている。



乾かし方でイメージが変わる扱いやすい毛先カールで お客さまのヘアへの関心を引き出す

乾かし方によりスタイリングを変えられるパーマスタイルです。今回のモデルさんはキュートな雰囲気なので、ふんわりとした動きを見せてスタイリングしました。ポイントで作ったアゴラインの長さの毛束を内巻きにするとキュートになり、外ハネにすると無造作っぽくラブな可愛さが出せます。全体をリバースに流してあげればクールな印象にもなります。雰囲気はスタイリングの仕方によって色々変わるので、その日の気分に合わせてヘアに簡単にチェンジ出来ると、お客さまからも人気のスタイルです。

今回のようにふんわり感を出す為には根元をしっかりと乾かし、毛先は柔らかく揉み込みながらドライヤーをあて、クリームワックスを毛先から上に向けて揉み込むように付けます。今回は眉を出す形で前髪をスタイリングしましたが、年齢や雰囲気にあわせて変えることが似合わせのポイントです。バングの雰囲気を少し変えれば30代後半の方に似合わせてもステキなスタイルに仕上げられます。

ポイントはバングとサイドの髪を繋げないことです。乾かした時に軽さと動きが出るように、こめかみから2cmの幅でアゴラインの長さの毛束を作っておきます。バングはコテで巻いたような重さを出したいので、上に引き出した時、角を削りすぎないように注意します。

パーマはトップは巻かず毛先のみにかけているので、全体的なボリュームが出ずに扱いも簡単。その為パーマをかける事に少し抵抗がある方やスタイリングで色々遊びたいお客さまにもお勧めし易いです。乾かし方でスタイルのイメージを180度変える事が出来るので、毎日のアレンジが楽しくなりお客さまもヘアスタイルへより一層関心を持ってくださるようになります。



① 施術前の状態です。軟毛で多毛、カラーによるダメージが多少あります。



② アウトラインを鎖骨の位置に設定し、前上がり気味にカットします。



③ パーマをかけた時、毛先にフェイスラインを包み込むような動きを付けたいので、サイドはやや強めの角度で前上がりにカットします。逆サイドも同じようにカットします。



④ トップの髪を3分の1程度取り、頭皮と垂直に引き出してレイヤーを入れます。



⑤ 頭の形に添って放射状に切り進みます。



⑥ 逆サイドも同じようにカットします。



⑦ レイヤーを全体に入れた後、角を落とします。



⑧ 前髪は目尻～目尻の幅で取り、目にかかるギリギリのラインでラウンド気味にカットします。



⑨ フェイスラインを包み込む動きを作る為、サイドの髪をこめかみで分け取り、アゴのラインでカットします。



⑩ カットラインをぼかす為に、角を落とします。



⑪ 量感調節をします。ベースカットと同じ引き出し方で中間～毛先に1回、パネルに対して縦にハサミを入れます。顔周りも同じようにハサミを入れます。



⑫ ベースカットの終了です。



⑬ ルベルプライヤーコスメを付け巻きで巻きます。ナーブは19mmロッドで毛先巻きにします。



⑭ 2段目は21mmロッドで毛先巻きにします。



⑮ 3段目(耳上)からは3等分にして、23mmロッドで毛先巻きにします。



⑯ アゴラインでカットしたサイドはカットラインと同じスライスで引き出し、毛先一回転半で巻きます。



⑰ 前髪は上下で2段に分け、下21mm、上23mmのロッドで毛先巻きにします。



⑱ ワインディングの終了です。8分放置後、軟化チェックをして中間水洗します。ナノスチーマーの後2剤塗布、7分7分の2度付けです。



⑲ ロッドアウト後の状態です。



⑳ 顔周りは毛先から中間辺りを掌で丸めるようにして持ち上げ、リバースの動きを作ります。



㉑ ルベルのトリエ、ムーブエマルジョンの4番を取り、全体に揉み込むようにして付け、形作ります。